

シェル美術賞 レジデンス支援プログラム

Shell Art Award Residency Support Program

募集案内

2018年4月
シェル美術賞事務局

■企画趣旨

シェル美術賞では、若手作家の継続的な支援をさらに強化すべく、過去に受賞・入選した若手作家を対象に、海外滞在制作の機会を提供・支援するプログラムを実施します。本プログラムは、海外滞在中や他の作家との交流を通じて、新しい刺激と気づきを得ることで、作家としてよりステップアップしていただくことを目的としています。

■本企画の対象、内容

パリのシテ・デ・ザールにおけるレジデンス企画（約2ヶ月）の参加支援

■滞在先

シテ・アンテルナショナル・デ・ザール（フランス／パリ）

18 rue de l' 'Hôtel de Ville, 75004 Paris France

URL: <http://www.citedesartsparis.net/>

■渡航滞在日程

2018年11月2日（金）パリ着、12月27日（木）パリ発、約2ヶ月の滞在を予定

■人員

1名

■対象となるアーティスト、条件

シェル美術賞2008～2017に受賞・入選した者の中から以下に該当する者

- 本プログラムの応募・滞在スケジュールで渡航滞在中が可能な者
- 2018年3月31日現在、20歳以上40歳以下で、本プログラムに強い意志を持つ者
- 英語（或いはフランス語）の語学力は必須。滞在中、スタッフや他国のアーティストとの意思疎通がきちんとはかれ、十分にコミュニケーションが取れる者（書類選考通過者は英語による面接有り。また現地でフランス語のクラスを取っていただくことを推奨します。別途有料）
- 二次選考面接に出席できる者
- ヴィジュアルアートの分野での作品制作、展示実績が3年以上ある者
- 滞在中の終わりにオープンスタジオを開催できる者
- 心身共に健康で滞在中制作に支障の無い者

■その他条件

- 滞在中、制作活動に専念すること
また、必要に応じて連絡が取れ、非常時等は事務局の指示に従うこと
- 帰国後、報告書の提出、また経験者として次回以降の説明会に出席すること
- シェル美術賞の併設展示等の企画に参加すること
- 決定後の申込手続き等は対象者が主体となって行うこと
- 渡航滞在中に当たり、昭和シェル石油で包括傷害保険を付保します
機材、材料、作品等に応じて追加が必要な場合は、各自の費用で保険を付保すること（自己負担）

■支援内容

- ① 海外渡航費の実費（上限は東京⇄パリの往復エコノミー航空券相当の金額）
- ② 滞在中費 1日（1,000円）× 現地滞在中日数 ※1
- ③ 住居兼スタジオ（wifi、パリの美術館PASS付）

※1 滞在中、不在にする場合、不在日数相当分の滞在中費の返還を求める場合があります

※2 申込内容に明らかな虚偽があった場合は、上記費用の返還を求める場合があります

■事務局のサポート

出発前：施設の案内、その他必要な情報の提供

滞在中：パリ在住の日本人コーディネーターが滞在中に関する相談にのることが可能です

<応募について>

■応募受付期間

2018年4月26日(木)～5月16日(水) 必着

■応募方法

以下の Web サイトから<レジデンス支援プログラム申込フォーム>をダウンロードして必要書類を記入、準備の上、郵送応募してください

<http://www.showa-shell.co.jp/enjoy/art/index.html>

- | | |
|--|-------|
| ① 申請者基本情報 / Applicant Details (和英各1部) | 計2部 |
| ② 略歴およびプラン / Profile, Proposal (和英各1部) | 計2部 |
| ③ Samples of your work (和英併記 ※書式は自由) | 必要枚数分 |

応募書類送付先:

〒115-8691 赤羽郵便局私書箱60号
シェル美術賞事務局 レジデンス支援プログラム 宛

※応募書類に不備があっても事務局から連絡はありませんので、十分確認の上、お送りください。
※応募書類は返却いたしません。また審査結果、過程等の問合せには応じることはできません。

■選考方法、スケジュール

- ① 一次選考 (書類) 5月下旬
- ② 二次選考 (面接、地方在住の場合は Skype) 6月初中旬
- ③ 最終選考 6月下旬
(最終選考はシテ・デ・ザール側で決定します 対象者1名と補欠1名の予定)
- ④ 選出作家発表 7月初旬

※ 通過者のみ事務局からご連絡を差し上げます。次の選考までに連絡が無い場合は、選外とご判断ください。
また、選出作家は Web サイトにて発表いたします。

■お問合せ

本プログラムに関する Q&A は、Web サイトに掲載しています。
それ以外のお問合せは、以下までお願いいたします。

- 企画全般、内容に関すること
シェル美術賞事務局 長針浩之 Nagahari-H@mail.dnp.co.jp tel. 090-7736-9260
- 応募書類・個人情報等の扱いに関わること
シェル美術賞事務局 tel.03-5225-0502

※個人情報の取り扱い

記入していただいた氏名、住所、活動歴などの個人情報は、シェル美術賞事務局で厳重に管理し、下記目的に限り使用いたします。

- 本プログラムの審査 (日、仏)、審査にかかわる連絡
- 対象者については WEB サイト、報道、その他本プログラムに関わる関連媒体への提供

<シテ・アンテルナショナル・デ・ザールの紹介>

■施設概要

シテ・デ・ザールは、パリ市中央部、セーヌ川沿いに位置する、アーティスト・イン・レジデンス施設で1965年に設立。現在では、シテとモンマルトルに約320戸のスタジオ兼住居を保有し、100カ国以上からのアーティストを受け入れて滞在の制作を行っている。領域は美術だけでなく、音楽、映像、ダンス、小説など様々。世代は青年以上、年齢制限は無く、幅広く多様な人たちが世界中から集まり、アーティスト同士が互いに交流し、刺激を与えあう事を、このレジデンスの特長としている。施設は、スタジオ兼住居(約20㎡)、販売工房の他、多くのギャラリー、コリドーギャラリー、講堂があり、自室を使ったオープンスタジオと合わせて、毎週様々なイベントが開催され滞在するアーティストの他、外からの来場者も集まり交流を図っている。また新しいレジデントは月に1回の食事会で全員に紹介し、フランス語を学ぶ授業も週に2回行われ、その手助けをしている。



建物 A 外観



場所は METRO7 号線 Pont Marie 駅出口から0分。
ルーヴル美術館、マレ地区のギャラリーにも近い



Cité Internationale des Arts 館長 Bénédicte ALLIOT さんからのメッセージ

アーティストのみなさん

多くのアーティストのキャリアの中で、かけがえのないステップとなるアーティスト・イン・レジデンス。それが1965年以来シテ・アンテルナショナル・デ・ザールの活動の核となっています。ですから2018年の今日、シェル美術賞とのパートナーシップのおかげで日本とのつながりをさらに広げ、日本からのアーティストをお迎えできることを一層嬉しく思っております。

この新しいパートナーシップは、日本のアーティストの方々がシテ・アンテルナショナル・デ・ザールを躍動させているコミュニティに加わる機会を提供するために結ばれたものです。

シテ・アンテルナショナル・デ・ザールでは、創設時より、全ての分野の、世界中のあらゆる地域のアーティストを、パリの中心に位置する326のアトリエ住居へ迎えてきました。滞在アーティストの数の多さ(創設から現在までに迎えたアーティストの総数は22000人にの

ぼります)、パリの中心部という理想的な立地、プロジェクトの中心にアーティストを据えるというコミットメントから、シテ・アンテルナショナル・デ・ザールはパリの文化シーンの中で、また国際的なスケールでも際立った存在となっております。

パリにあるシテ・アンテルナショナル・デ・ザールへ来ること、それはフランスと関わりのあるプロジェクトを発展させると共に、世界中の300人ものアーティストたちの中で、躍動するクリエイティブな環境に溶け込む絶好の機会です。

こうした理由から、私も、アーティストのみなさんが日本とフランスの新しい共同プロジェクト、シテ・アンテルナショナル・デ・ザール&シェル美術賞コラボレーションへ参加して下さることを、心から期待しています。

それでは、近いうちにお目にかかれそうですよ！

■シテ・デ・ザール Web サイト

施設の詳細、またレジデンスの詳細については、以下、英語による案内がありますので、ご参照ください。

TOP ページ (基本フランス語のみ一部レジデント向けに英語ページ有)

<https://www.citedesartsparis.net/>

You are a future resident

<https://www.citedesartsparis.net/media/cia/183726-conspratiquesfuturs2018-ang.pdf>

You are currently in residence

https://www.citedesartsparis.net/media/cia/183726-conseils_pratiques_ang_2018.pdf

■版画工房

シテ・デ・ザールには版画工房があります。補足情報を以下に記します。

- 版画工房は2つあり、1つは銅版画、1つはシルクスクリーン（リトグラフ、木版プレスは無し）
- プレス機は、銅版画工房に1つ（版 140 X 77）、シルクスクリーン工房に1つ ライトボックス（80x60）
- テーブルや戸棚は自由に使えますが、専用できるわけではないので譲り合って使用してください
次にアトリエを使うまでの間、私物を置くことができます
- 工房の申込受付、消耗品等の供給、プレス機・電気など各責任者がいます

工房で用意のあるものと作家が用意するもの

＜銅版画工房＞

- シテ側／溶剤、製版インク、アルコールは共同で使えるように施設で用意しています
- 作家側／用紙、製版インク（カラー）、版、彫刻刀、ふき布など

＜シルクスクリーン 工房＞

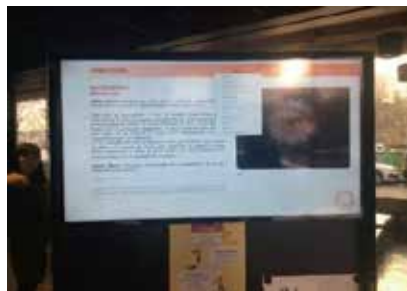
- シテ側／バキュームエリア、吸入タービン、ドライヤー（乾燥機）、木製へらと亜鉛製のへら、溶剤 YC4001、枠
- 作家側／スクリーンの交換

※ 作家本人で、素材や個人の消耗品を持ち込み、それについて責任をもって管理すること
※ 上記は 2018 年 1 月時点の情報です。変更場合があります。

■館内、近隣の画材店等の紹介



レセプション



レセプションのインフォメーションモニター



EV ホール オープンスタジオ案内ボード



EV ホール イベント案内ボード



建物 A 廊下部



スタジオ兼住居（参考写真）



スタジオ兼住居（参考写真）



スタジオ兼住居（参考写真）



スタジオ兼住居（参考写真）



スタジオ兼住居（参考写真）



ギャラリー



ギャラリー



コリドー ギャラリー



講堂



共用のカフェスペース



版画工房



版画工房



版画工房



版画工房



ゴミ捨て場



コインランドリー、乾燥機（有料）



画材店 Passage Cloute (Nation 駅近く)



画材店 Passage Cloute (Nation 駅近く)



画材店 Rouger & Pie (Oberkampf 駅他)